

つくしの家 婦中 放ディ、児童発達の事業所、保護者評価について

○集計結果にて検討、改善していかなければならない所は、事業所、保護者共に同じ所に集中していた。

・父母会や保護者会の開催、保護者同士の連携の支援については出来ていない。学校での繋がりはあるも事業所で会うことはあまり無い。納涼祭やクリスマス会などの開催、保護者の集いなど年 1 回でも保護者が事業所にて交流の場を持てる様に支援して行かなければならないと思った。父母会などの開催等について保護者の方にも意見を聞きたいと思う。事業所で大々的な行事を行うことがないので地域との交流はない。行事をきっかけに交流の場をもてれば良いと思う。事業所の中では、児童の利用者が障害のない子供達と交流する機会はほとんどない。近所の学校の行事（運動会や学習発表会など）を見学に行ったりできたらいいと思う。

ボランティアの受け入れや地域との交流を活発にもつことで事業所に第三者の目が入りそれにより職員も緊張感を持って業務にあたることができ自然と虐待防止にも繋がっていくと思うので検討していきたい。

・非常災害に備えての訓練他

避難訓練は定期的に行っているが児童が帰ってくる前に実施している為、児童は参加した事がない。児童が 1 日利用する土曜日や長期休みの時に実施出来る様に検討していきたい。緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルなどの見直し。無い物は作成し周知を図っていきたい。

・医療ケア児の主治医等との連携体制

受け入れ時、アセスメントはとってかかりつけ医、主治医などの確認はしているが直接主治医と話すことは無く何かを確認したい時は、保護者から主治医という形になっている。ケア会議等で主治医の話など聞く機会があればよいと思う。食物アレルギーのアンケート調査は実施しているが医師の指示書までは頂いていない。その人のアレルギーを確認し提供しないようには心掛けているがやはり万が一の事を考えると指示書に基づく対応が求められるので検討していきたい。

・身体拘束

身体拘束について保護者からの同意書や事前に説明をする等の働きかけはまだしていない。同意書の作成、保護者への説明、個別支援計画に記載することをしっかりとしていかなければいけない。早急に社内に対応する。